

シドニー事務所における「2007年オセアニア地方行政フォーラム」
の開催について

(財)自治体国際化協会では、地域の国際化を推進するための様々な事業を行っているところです。この度、当協会のシドニー事務所が「2007年オセアニア地方行政フォーラム」を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

1 オセアニア地方行政フォーラム

オセアニアにおける地域レベルでの相互理解を促進し、友好協力関係の一層の強化を図るため、特定のテーマに基づくフォーラムを開催し、関係国及び我が国の地方行政関係者により意見交換を行う。1995年以降、毎年開催している。

2 日時及び場所

2007年10月3日(水) 8:30~13:30

オーストラリア北部特別地域ダーウィン市

ダーウィン エンターテイメント センター

93 Mitchell Street Darwin NT 0800 Australia

3 内容

テーマ：地域の資源を活用した持続可能な観光：交流・発展・活力

講演：ニセコ町 商工観光課長 折内 光洋氏

(有)ニセコアドベンチャーセンター

代表取締役 ロス・フィンドレー氏

ツーリズム・レジャー・コーポレーション・クイーンズランド

代表取締役 ガリー・スミス氏

北部特別地域観光局 航空&クルーズ部アジア・日本課

課長 リチャード・ドイル氏

トロピカル・ノース・クイーンズランド観光局 日本&グアム課

ジェネラルマネージャー 新堀 治彦氏

※詳細については、別紙をご参照ください。

連絡先

(財)自治体国際化協会

シドニー事務所

次長：吉川 所長補佐：山崎

電話：+61-2-9241-5033

(参考1)

2007年オセアニア地方行政フォーラム開催概要

- 1 主 催 (財)自治体国際化協会シドニー事務所 (CLAIR, Sydney)
- 2 開催日 2007年10月3日(水) 8:30~13:30
なお、本フォーラムは ASCA (豪州姉妹都市協会) の総会 (9/30 (日) ~10/3 (水)) 4日目の午前に同総会の会場において開催する。
- 3 開催場所 オーストラリア北部特別地域ダーウィン市
ダーウィン エンターテイメント センター
93 Mitchell Street Darwin NT 0800 Australia
- 4 参加者数 豪州姉妹都市協会会員及び日本、オーストラリアの地方行政関係者等
150名程度(見込)
- 5 趣 旨 オーストラリアと我が国の地域レベルでの相互理解を促進し、友好協力関係の一層の強化を図るため、特定のテーマに基づくフォーラムを開催し、両国の地方行政関係者により意見交換を行う。1995年に初めて開催し、その後、毎年開催している。
- 6 テーマ 地域の資源を活用した持続可能な観光：交流・発展・活力
- 7 講師等
《主催者代表》(財)自治体国際化協会専務理事 上田 紘士氏
《来 賓》在シドニー日本国総領事館 領事 山口 忠彦氏
北部特別地域地方自治体協会 最高責任者 ケリー・モイア議員
《講演事例発表》ニセコ町 商工観光課長 折内 光洋氏
(有)ニセコアドベンチャーセンター
代表取締役 ロス・フィンドレー氏
ツーリズム・レジャー・コーポレーション・クイーンズランド
代表取締役 ガリー・スミス氏
北部特別地域観光局 航空&クルーズ部アジア・日本課
課長 リチャード・ドイル氏
トロピカル・ノース・クイーンズランド観光局 日本&グアム課
ジェネラルマネージャー 新堀 治彦氏
《司会者》 ダーウィン市 首席行政官 (CEO) アラン・マックギル氏

8 最近の開催実績

| (開催日) | (開催地) | (テーマ) | (参加者) |
|------------|--------|---|-------|
| 2006年10月4日 | タウンズビル | 環境にやさしい持続可能な地域づくり ー地方自治体に対する実践的解決法を探るー | 約130名 |
| 2005年6月9日 | メルボルン | 進化する地方自治体 ~新たなる挑戦~ | 約60名 |
| 2004年10月6日 | アデレード | 高齢化社会への地域対応ー多国間比較ー | 約80名 |
| 2004年2月20日 | パース | 持続可能開発の現在 | 約70名 |

1. ASCA (豪州姉妹都市協会)

姉妹都市活動を支援する豪州全国の組織として、1982年に設立。

会員数：協力団体約100自治体、個人会員約15人

豪州内姉妹都市登録数：約470自治体 (一つの自治体での複数の姉妹都市提携を含む)

会長：Kevin Hill氏 (ニュー・サウス・ウェールズ州バンクスタウン市議会議員)

運営委員会：委員長1名、副委員長1名、書記1名、会計1名、他の委員3名

メンバーは年次総会で選出されるが、すべてボランティア。

事務局：各委員の職場等が連絡先

主な活動：年次総会の開催

地方自治体や州政府の姉妹提携の現状把握

姉妹都市交流に関するアドバイス

機関紙『Sister City News』の発行 (年2回)

総会の開催地：立候補した都市の中から ASCA 会員の投票により決定

過去の開催地：2006年度 タスマニア州デボンポート市

2005年度 ヴィクトリア州ラトローブ市

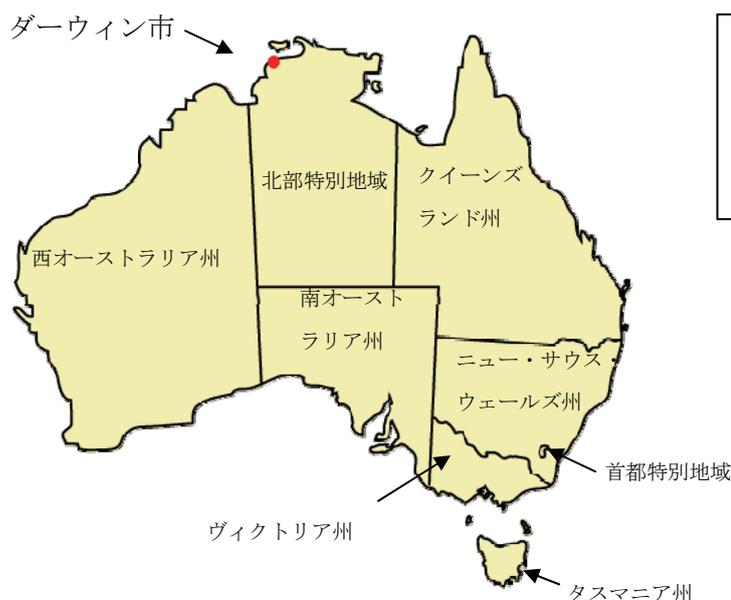
2004年度 クイーンズランド州ヌーサ市

総会では「優秀姉妹都市賞」が発表される。例年、日本の姉妹都市との交流事業の実績を評価されて受賞する都市が多く、2006年度においては、12部門のうち9部門を占めた。

(参考) コミュニティ参加部門：ヴィクトリア州ラトローブ市 (兵庫県・高砂市)

総合プログラム部門：ニュー・サウス・ウェールズ州マンリー市 (東京都・台東区) ほか

2. 開催地 (北部特別地域ダーウィン市)



ダーウィン市のデータ

人口：71,990人

面積：144km²

主要産業等：鉱業、観光地、軍事拠点

3. 日本とオーストラリアの姉妹都市について (2007年8月末現在)

姉妹州：6件

姉妹都市：102件

2007 CLAIR FORUM

地域の資源を活用した持続可能な観光：交流・発展・活力

1995年から毎年開催しているオセアニア地方行政フォーラムを今年は豪州姉妹都市協会の総会（テーマ：Making the Connection）の日程に合わせて、10月3日（水）、ダーウィン市において開催します。

今年のフォーラムでは、地方自治体関係者とツーリズムの専門家が一堂に会し、持続可能な観光の促進と地方自治体の役割について意見交換を行います。

観光は、地域住民に多大な利益をもたらします。クリアフォーラムでは、地域の経済を活性化し、インフラ整備・自然保護などの環境を整備するために、地方自治体がどのように企業と一体となって観光事業を促進していくかを探ります。

地域の発展や観光を通じたまちづくりに関する方策に焦点をあて、観光振興によって地域社会や地域経済に互惠をもたらすために、姉妹都市交流をはじめとする地域の国際的な対話や交流をどのように促進していくのかについて、数々の講演が行われます。

フォーラムは持続可能な観光、姉妹都市交流、地方行政及び日本に関心のある方どなたでも無料で参加できます。

クリアについて

財団法人自治体国際化協会（CLAIR）は、日本の地域における国際化を一層推進するために地方公共団体の共同組織として1988年（昭和63年）に設立されました。

クリアは東京を事務局・本部として、ニューヨーク、ロンドン、パリ、シンガポール、ソウル、シドニーおよび北京に海外事務所を展開しています。海外とのネットワークを活用して、地方公共団体の海外における活動を支援すること、語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）や国際交流事業の調整を行うこと、諸外国における地域活性化の方策についての調査研究を行うこと、日本の地方行財政制度を海外に紹介することにより国際理解の促進に寄与しています。

クリアシドニーは1994年（平成6年）に設立され、オーストラリアとニュージーランドでの活動を担当しています。



Making The Connection

2007 CLAIR FORUM

フォーラムでは、観光産業と地方自治体経営の両面から持続可能な観光に関する実例を講演していただきます。

折内光洋（北海道ニセコ町 商工観光課、課長）

「ニセコ町における観光施策 ～通年型観光地へ～」

折内氏は昭和52年ニセコ町役場に就職、平成7年に企画観光課商工観光係長から観光に携わっている。

ロス・フィンドレー（ニセコアドベンチャーセンター、代表取締役）

「ニセコ～急成長する国際観光地」

フィンドレー氏は、彼の設立した無類のアドベンチャーセンターと人気の高いアウトドアプログラムを通じて、アウトドアアドベンチャー観光地としてニセコ地域を発展させた先導者の一人である。

ガリー・スミス（ツーリズム・レジャー・コーポレーション、クイーンズランド、代表取締役）

「持続可能な観光に取り組む民間企業：地方自治体との協力関係」

スミス氏はエコツーリズム分野の先導者として、1987年開発当初から積極的にキング・フィッシャー・ベイ・リゾート開発に取り組み、現在は豪州エコツーリズムの役員でもある。

リチャード・ドイル（北部特別地域観光局、航空・クルーズ部アジア・日本課、課長）

「世界遺産の活用～持続可能な観光を実現するために」

ドイル氏は、豪州観光輸出協議会の日本政策委員会に州の観光組織の代表者として参加し、また豪州クルーズ協会の議長も務めている。

新堀治彦（トロピカル・ノース・クイーンズランド観光局、日本&グアム課 ジェネラルマネージャー）

「日本マーケットにおけるケアンズのツーリズムマーケティング」

新堀氏は、豪州の州政府・地方自治体の観光組織において、観光地のマーケティングをはじめとする豪日間のあらゆる観光マーケティング活動に従事している。

来賓：ケリー・モイア議員（北部特別地域地方自治体協会、会長）

モイア議員は1992年からダーウィン市のチャン区域の選出議員として、また北部特別地域の環境教育訓練省の国際部長としても活躍している。

総合司会：アラン・マックギル（ダーウィン市、首席行政官（CEO））

マックギル氏は、以前はキャサリン市やアリススプリングス市の首席行政官として、またメルビル島のミリカピティ・コミュニティ・カウンシルの総合事務官として、北部特別地域内の数々の地方自治体で経験を積んでいる。

フォーラムは2007年10月3日（水）8:30～13:30、ダーウィンエンターテイメントセンターにおいて開催します。モーニングティとランチの提供あり。自由参加、無料。

参加に関するお問い合わせはブライオニー・ダイヤー（電話 +61-2-9241-5033、メール bryony@jlgc.org.au.）まで。ASCA（豪州姉妹都市協会）総会に参加される方は、クリアフォーラムへの参加申込は必要ありません。フォーラムに関する情報は、www.jlgc.org.au をご覧になるか、またはブライオニー・ダイヤーにお問い合わせください。



Making The Connection